

TTC山行実施記録表

(2024.7.3 報告者 佐藤 清)

1. 山行名	北岳・間ノ岳		山梨県[北岳 3,193m、間ノ岳 3,190m]							
2. 実施日	2024年6月26日(水)~28日(金)2泊3日			交通機関:マイカー						
3. 参加人数	レベル:★★★☆(計画書は★★★)			参加:10名(男4/女6名)						
4. パートスタッフ	CL:佐藤 清 SL:坂本 達治 会計:市川 咲子 救護:乙竹 信之 写真:乙竹/佐藤									
5. 参加メンバー	出田 美樹、三川 弥生、市川 咲子、首藤 理絵、鈴木 貴久子、乙竹 信之、坂本 達治、青柳 輝雄、北川 裕子、佐藤 清									
6. 費用 1人当たり(平均) ¥32,131円 カンパ金 19円	マイカー使用料:300km×15円×2台=9,000円、ドライバー謝礼:5,000×2日×2台=20,000円、燃料代:300km×165円÷8km×1台=6,188円、300km×165円÷15km×1台=3,300円、高速道路代 圏央厚木⇄白根:行3,330円×2台=6,660円、行きバス代+利用協力金=17,500円、帰り+利用協力金=17,000円、入浴料6,000円 宿泊代:228,000円(白根御池小屋98,800円@9,880円、北岳山荘129,200円@12,920円)、通信費:1,000円、カンパ金:192円 宿泊費用228,000、その他費用93,500円 合計321,500円(@32,150円) ※宿泊費用は、テン泊や食事や弁当など参加者により異なります。 ※1泊(夕食、朝食込)宿泊代 白根御池小屋10,500円 北岳山荘12,300円									
7. 所要時間	歩行時間			休憩時間			行動時間			
GB...がトブックはヤマケイのラインによる。行動時間は、ヤママップによる	日付	6/26	6/27	6/28	6/26	6/27	6/28	6/26	6/27	6/28
	GB	3:10	8:30	5:05	—	—	—	—	—	—
	計画	3:10	8:30	5:05	0:30	2:08	1:00	3:40	10:38	6:05
	実行	2:36	9:22	6:04	0:17	1:35	1:50	2:53	10:57	7:54

実行コースタイム記録

◆6/26(水) 曇り時々晴れ

マイカー	バス
本厚木===圏央厚木 IC===白根 IC===芦安駐車場===広河原	白根御池小屋
7:00	9:15~10:00 11:00~22 14:09

◆6/27(木) 曇り時々晴れ

3:15	0:41	0:41	0:45	1:48	1:22	1:05	
白根御池小屋	肩ノ小屋	北岳	北岳草	北岳山荘	間ノ岳	中白根山	北岳山荘
5:00	8:15~40	9:21~59	10:40	11:25~58	13:46~14:08	15:31~40	15:45

◆6/28(金) 本格的な雨(広河原~芦安間の南アルプスパー林道は午後1時で通行止めになる)

4:05	2:05	タクシー	マイカー
北岳山荘	白根御池小屋	広河原===芦安駐車場===やまなみの湯===夢庵===圏央厚木===本厚木駅	
6:00	10:05~40	12:45~55 13:50~14:10	15:00~16:00 16:40~17:30 20:00

※本記録はヤママップによるもので、概ね正確だが、所要時間の欄の歩行・休憩時間とは整合を取っていない。

コースの概要、特記事項、反省事項等

今回の山行の目的は北岳草を見ることと3,000mを越えた山頂に2峰登ることだったが、北岳草を充分に見て、中白根(3,055m)も加え3峰登り+雷鳥のおマケも付いて今回の目的は達成できた。1日目は余裕の歩きだった、2日目(歩行距離10km、高低差登り1,437m、下り784m)はアップダウンも多く疲れ、3日目は反省点もあった。

◆6/26(水)

参加者は、厚木の集合場所から予定の時刻に芦安駐車場に向い、高速道路の渋滞もなく計画の時間に芦安駐車場に着き、10時発の広河原行きバスを待った。

バスは平日にもかかわらず、甲府駅から乗車した客を含めると広河原までの1時間立って行く登山者もいるほど混雑して、床に座る方もいた。

終点の広河原で下車して身支度を整えて出発をした。

ヤママップによると今日の距離は2.7kmで登り754m、下り31mだった。広河原をでて吊橋を渡ると直ぐにマズマズの登り坂が現れ、この登り坂が白根御池小屋まで続くことになる。花が少しの登山道でも楽しそうにおしゃべりしながら登って行く。皆さん山トレを行っていたと聞いていたので、その成果か余裕の歩きであった。

計画より1時間早く白根御池小屋に着いた。白根御池小屋は、建物は新しくトイレは水洗で快適な山小屋だ。着いて直ぐに散歩に行くと言って二俣方面に出かける参加者も数名いた。

① 受付の方に残雪状況の確認をしたが、小屋から草すべり~北岳~北岳山荘間に雪はない。しかし、八本歯のコル~二俣までは夏道が所どころ現れてはいるものの雪渓歩きをしなければならない。アイゼンとピッケルは必要だとのアドバイスをいただいた。

- ② SLと打ち合わせをし、6/28(金)の天気予報は本降りのようで、雨の中で北岳草を見ることは難しく明日、山頂付近からトラバース道(巻道)に下り、北岳草見学を予定していると参加者に伝えた。
- ③ 朝食を弁当にして5時に出発する予定だったが、朝食が4時30分からなので朝食を摂ってから5時に出発すると伝えた。

夕食のおかずには一同満足をしたことだろう。明日の昼食の弁当は、夕食後に手渡されおにぎり3個でおいしそうだった。ここの消灯は8時で夕食後に外で夕焼けを見ている参加者もいた。

◆6/27(木)

参加者は3時半ぐらいに起きて出発準備をして、朝食を予定の時間に食べて5時に出発することができた。

白根御池を過ぎると直ぐに急登になり、この急登が小太郎尾根分岐まで続く、2時間40分ぐらい急登が続いたので、1時間歩行に10分または30分歩行に5分の小休止を入れながら登った。草すべりは急登ではあるが所どころハクサンイチゲなどのお花畑があり、花が好きな方は楽しみながら登ることができる。

小太郎尾根分岐を過ぎて肩ノ小屋に着き20分ほど休憩を取る。

肩ノ小屋から北岳山頂までは約40分だが、これまでに脚を使っているの、早くは歩けない。ゆっくりペースで山頂を目指した。北岳山頂には、10時着の計画だったが、9時20分に着き、30分ほどわいわい騒いでいた。

山頂からは、甲斐駒ヶ岳、仙丈岳、鳳凰三山、農鳥岳、槍ヶ岳、穂高岳、富士山等々まで見えて、今日の参加者はラッキーだった。

北岳山頂から北岳山荘方面に下ると、トラバース道への分岐に道標があり分かり易い。山頂から20分ほどでトラバース道に着く。左に行くと八本歯で、ここを右に行き北岳山荘方面に行くことになる。

北岳草は、このトラバース道の所どころ生えていた。写真ではハクサンイチゲと北岳草は分かりにくい、目で見ると違いが一目瞭然と判る。北岳草は①花の先端に少し切れ目がありハートになっている。②葉が重なり合って全く異なる形をしている。参加者はトラバース沿いに北岳草が『ここにもあるよ』とハクサンイチゲとの違いが判るようになった参加者の面々である。

この時期にトラバース道を歩いている登山者は、北岳草を見るのが1つの目的であることに疑いようの余地は無いだろう。

ここから、1時間歩いて北岳山荘に着き、宿泊の手続きをして荷物をデポして、12時に間ノ岳に向かった。山荘から間ノ岳まで計画は1時間40分だが1時間50分かかった。山荘が3,000m、間ノ岳が3,190mで190mの登りは大したことはないと思ったがアップダウンもあり足をソコソコ使う。行きの中白根山(3,055m)はトラバースし、間ノ岳への最後の登りが岩ゴロで疲れた。

帰りは下りになるのだが、中白根山で10分ほど休憩を入れて山荘まで1時間40分もかかった。北岳山荘と間ノ岳間は往復どちらも同等の時間がかかると見ておいた方が良さそう。

中白根山から北岳山荘に向けて歩いていると足に赤い輪を着けた雷鳥が姿を現したのも『嬉しいオマケ』一つであった。

北岳山荘には15時30分ぐらいに着き、宿泊登山者も少なく悠々と過ごすことができた。

朝食は5時からと聞き、出発を計画の7時から6時に変更し、朝から雨が降っているのでカッパを着てスパッツを履くようお願いをした。

夕食は17:30からで、消灯は8時でしっかり寝た。

◆6/28(金)

5時に食事をしていると2名の女性から八本歯の科尔に行くなら同行をさせてくれと依頼があり、一緒に下ることになった。予定どおり6時出発で八本歯の科尔までは、雨で難易度が高くなっており、危険時には咄嗟に岩を両手で掴んだりハシゴも両手で掴む必要があることからストックは仕舞うように伝えた。

山荘を出ると直ぐにトラバース道になり、暫く歩くと科尔に向かうハシゴが出てくる。雨でも岩は滑ることがないものの慎重に歩き、ハシゴも1歩1歩慎重に下るので、12名いると時間がかかる。

科尔に着くと大樺沢左岸に行くが、所どころ夏道が現れ雪渓を歩く必要があるの、脱着に時間がかかるがアイゼンをつけたい方は付けるよう伝えた。しかし、これは良い指示ではなかった。反省点は、この斜度と雪質ならアイゼンまでは必要ないと思いつけなかったが、途中で雪の上を2~3mほど滑ってしまった。他の参加者もアイゼンをつけていなかった方で滑ってしまった方がいた。ケガはなかったことは幸いだった。

私は二俣までアイゼンとストックなしで残雪を避けて歩き通した。

大樺沢の雪渓は心配だったのでHPや事前電話、小屋に着いてから確認したが、アイゼンとピッケルが必要と言われた。実際に来てみると、チェンスパイクとダブルストックが正解だったと思う。ピッケルは練習していない突然使えと言われても無理がある。6本爪アイゼンとストックで十分だったと同時期に来た過去の経験もあったが、脱着が楽なチェンスパイクのほうが良かった。

同行した方は、チェンスパイクとダブルストックで軽快に雪渓の上を歩いていた。

二俣で同行者二人とは別れ、白根御池小屋で同行者は小屋を出発するところだったが再会できた。1時間早く出発したにもかかわらず、白根御池小屋に着いたのは10時30分で早出の貯金時間を使い果たしたが、早く出て正解だったことがこの後判る。バスの時間までゆとりがあるので、小屋でパンなどを食べて出発した。

ここからの登山道は歩きやすく計画どおりの時間で広河原に着き、タクシーに乗車して芦安駐車場から、やまなみの湯で汗を落とし、夢庵でしっかり食べて、ここで解散をすることになり帰路に付いた。

《山行こぼれ話》

まあ、何と言いますか、今年1年間の運を6月28日の広河原で使い果たしました。

北岳山荘をAM6:00に出発して、八本歯のコル経由で白根御池小屋に着きました。途中で八本歯のコルから大樺沢沿いの所どころの残雪に苦慮しましたが、全員無事に白根御池小屋に着き一服して広河原に12時45分に到着しました。

広河原の吊橋渡りながら2時出発のバスには余裕で間にあう。心中『全員無事に降りてきてよかった』と思った。

直ぐにインフォメーションセンターに行き、受付の方から、『今日は大雨で降水量が上限に達し林道の通行はできないので、バスの運行は中止になりました』とアナウンスでショックを受けた。咄嗟に『え～、明日仕事の方もいるのに』、『広河原山荘で宿泊することになったら、お風呂と食事はあるが、着替えが車に残置してあり、汗臭い服をまた切るのか』と思い参った。

受付の方は続けて、『広河原山荘にタクシーの運転手が食事をしているから、直ぐに行って芦安駐車場まで乗せて行って貰えるように交渉してください』言われて直ちに広河原山荘に行った。

広河原山荘の食堂で食事が終わったような2人組+数名がいた。そこで、食堂全体に聞こえるように『タクシーの運転手の方はいらっしゃいますか?』と2回声をかけた。

2人組の一人がこちらを向き『何でしょうか?』と言うので、『芦安まで行きたいのですが、タクシーに乗せていただけますでしょうか』とお願いをした。

タクシー運転手は、『良いよ』『何人』と言われましたので、『10名です』と答えた。

『何処で待てばいいのか』『いつ出発するのか』を聞くと、『外のテントの所で待ってくれ』『タクシーは直ぐに出発する』と言われ、参加者の所に戻り、タクシーが直ぐに出発するので外のテントの所に集合するように伝えた。広河原に着いて、10分~15分で芦安に向けて出発だ。

タクシーは2台に5名ずつ乗車をして、芦安の駐車場まで送ってもらった。

運転手は、直ぐに芦安に引き返す予定だったが少し時間があつたから、『蕎麦でも食べようか』と言うことになり食べていて、食べ終わったら直ぐに声を掛けられてとのこと。

真に紙一重で、自宅に本日中に着けるか、広河原山荘で1泊するか瀬戸際だった。運よく本日中に帰宅することができ、運転手には何回もお礼伝え感謝しかなかった。

令和6年の運を全てつぎ込んだような出来事で、こんなこともあるんだと内心驚いていた。

また、TTCの方の中には、本山行の一行が大雨の中で行動しており、苦難しているとお考えになり、人かたならぬご心配いただき、参加者一同を代表して感謝申し上げます。

《おまけ》

① 北岳山荘から二俣まで同行したお二人は広河原にいなかったもので、我々が広河原に着く少し前のバスで芦安に向かったのだらうと思われる。今日中に自宅に帰ることができるだらうと思った。

② 山行に行くときには、邪魔にならないので『モンベル』の会員証を持って行った方が、良いかも知れない。受付やレジ周りに『モンベルの会員の方』と言うようなお知らせがあつたら『何ですか』と聞いてみましょう。

何か?嬉しいノベルティーがいただけるかも・・・(^^)_U~~。

(やまなみの湯ではタオルをいただきました・・・)

以上